

# みんなでつくるひょうごの福祉



## 子どもたちのために居場所をつくる 地域に根ざした子ども食堂

今回は、加東市で子ども食堂を運営するNPO法人ペイフォワードの活動を紹介します。地域の子もたちが自然と集まり、楽しみながら食事ができる環境がそこにはあるんだ。

### 子どもたちが集まる場所をつくりたい

土曜日の夕方、加東市社福祉センターには活気ある子どもたちの声が響く。子ども食堂を運営するNPO法人ペイフォワードは、加東市で家庭の事情で食事を摂ることができない子どもや、一人で食事をしている子どもにも、健康的で温かい食事を提供したいとの思いから、理事長の目下伸一さんを含む有志4人によって設立された。

設立時のメンバーの約束事は、「やるからには継続してやること」。毎週続けてきた子ども食堂

は、これまでに133回を数え、延べ2,100人以上が参加。この11月に丸3年を迎えた。「みんなが無理なくできることを、子どもたちのためにやるといふ思いが原動力」と目下さんは語る。



心のコもった料理を提供してくれるスタッフ及びボランティアのみなさん

### みんなでつくりあげる子ども食堂

ペイフォワードの子ども食堂の特徴は、地域の様々な力を集結して運営されている点にある。例えば、市社協は場所の提供で協力し、調理面では、栄養士経験者を含む近隣のボランティアを中心に、地元住民から寄付のあった食材を

使ったバランスの良い食事が提供される。また、地元の社高校の生徒も月1回メニューを考えて調理を手伝い、さらには、兵庫教育大学の学生は、子ども食堂に際して小・中学生への学習支援を行う。

地域に根付いて取り組むペイフォワードの子も食堂は、口コミで広がり、参加者、協力者とも増えていった。現在、常時15名程の子もが参加し、子どもたちにとってはお兄さんやお姉さんと遊べ、休みの日にも友達に会えるかけがえのない居場所になっている。

### 子どもたちに伝えたいのは

子どもたちは、学校とは違う環境で大人と触れ合い、楽しみながら社交性や礼儀を学ぶ。ペイフォワードとは、『恩送り』という意味



おいしい料理を食べる子どもさん

で、恩を数珠つなぎにバトンタッチできる人に育ってほしいという、子どもたちへの思いが込められている。

「ここに来た子どもたちが、地域の方や友達に感謝の気持ちを伝える。そういうことを通じて、子ども食堂を、思いやりと感謝が身近に感じられる場にしたい」と目下さんは語る。今後、地域みんなで支え合い、ペイフォワードは子どもたちのために歩みを進める。

### 取材を終えて

当日は、誕生日会が開かれ、子どもたちの笑顔で溢れていました。調理室ではスタッフ、ボランティアが和気あいあいと調理し、その温かさが料理に現れていました。みんなが楽しみながら子ども食堂に関わる姿が印象的でした。

子ども食堂ペイフォワード

TEL: 0990-15888-6851

(法人事務局 小紫)

実施団体 NPO法人ペイフォワード

開催時間 17時～20時(毎週土曜)

開催場所 福祉センター(加東市社26)

参加費(食事代) 小・中学生200円

(学習をすれば無料)

大人500円